

## 講演者・司会者のプロフィール

### 開会挨拶



#### 豊田 正和

(一財)日本エネルギー経済研究所 理事長  
1973年通商産業省入省。1979年米国プリンストン大学公共政策大学院修了、OECD/IEA勤務を含め、貿易・エネルギー・環境などの分野で幅広い経験を積む。2003年商務情報政策局長、2006年通商政策局長、2007年経済産業審議官に就任。通商政策担当者として、APEC創設、日米自動車摩擦対応、京都議定書合意形成、ドーハ開発ラウンド開始等に大きく貢献する。2008年内閣官房宇宙開発戦略本部事務局長に就任。内閣官房参与としてアジア経済と地球温暖化も担当。2010年より現職。

### Session 1



#### 工藤 拓毅 司会 (モデレーター)

(一財)日本エネルギー経済研究所 理事 電力・新エネルギーユニット担任  
専門は地球温暖化政策、再生可能エネルギー政策、省エネルギー政策、温室効果ガスインベントリ検証、サステナブル・ファイナンス等の国際標準化等。政府や地方自治体の気候変動関連委員会に委員として数多く参画。ISO/TC207/SC7/WG5 (ISO 14064-2: GHGプロジェクトに関するガイドライン) 議長、ISO/TC17(鉄鋼)/WG24 (ISO 20915) 議長 (鉄鋼製品のLCI算定に関する規格) 等を務める。元・気候変動枠組条約JI監督委員会メンバー。2018年6月より現職。



#### ケン・メドロック 氏 (Dr. Kenneth Medlock)

米 ライス大学ベーカー研究所 シニアダイレクター  
2000年5月にライス大学で経済学の博士号を取得。同大学のエネルギー経済修士プログラムの共同ダイレクターであるとともに、同大学の経済学科及び社会環境工学科の兼任教授。IEEJの特別招聘研究員であり、コロラド鉱山大学 ペイン インスティテュートの諮問委員会メンバー。執筆多数、米連邦議会議事堂でも数多く証言するほか、OPEC等 世界中で講演活動を多数行っている。学術賞受賞も多く、最近では2019年 アブドラビンハマドアルティヤ財団(ABHAIF)より "Lifetime Achievement Award for the Advancement of Education for Future Energy Leaders"を受賞している。アメリカ経済学会(AEA)、全米石油審議会 (NPC) の諮問委員メンバー。



#### アラン・フォグウィル 氏 (Mr. Allan Fogwill)

加 カナダエネルギー研究所 プレジデント & CEO  
エネルギー部門の上級管理職として公的・民間機関で30年以上の経験を有し、エネルギー分野の経済・市場分析を専門としたエネルギー規制・効率性の政策立案に携わった。プリティッシュコロンビア州とオンタリオ州の天然ガス配給会社、市場分析・配給コストの分析を行うオンタリオ州エネルギー委員会、またCERI入所以前はオンタリオ州のガス配給会社に規制関連のコンサルティングの経歴をもつ。Canadian Energy Efficiency Alliance および Canadian Gas Research Institute の議長兼 CEO を務めた。サイモンフレイザー大学 天然資源管理 修士号、サスカチュワン大学 地理学学士号を取得。2014年11月より現職。



**フチャン・ヤン 氏 (Dr. Fuqiang Yang)**

中 北京大学エネルギー研究所 気候変動・エネルギー転換プログラム(CCETP) シニアアドバイザー  
40 年以上に亘り、気候変動とエネルギーの専門家として中国の持続可能エネルギー戦略と政策に関わり、建築物・産業・運輸部門のエネルギー効率、低炭素都市・電力・再生可能エネルギー、気候変動について幅広く研究。CCETP 着任前は、自然資源防衛協議会でエネルギー・環境・気候変動分野のシニアアドバイザー、WWF インターナショナル本部 グローバル気候ソリューションディレクター、エネルギー財団 バイスプレジデント、エネルギー財団 北京事務所 首席代表を歴任。2000 年以前は、中国 旧国家計画委員会 エネルギー研究所、および米国 ローレンスバークレー国立研究所に所属。米国ウェストバージニア大学インダストリアルエンジニアリング博士号、中国 吉林大学物理学理学士号 取得。

Session 2



**山下 ゆかり 司会 (モデレーター)**

(一財) 日本エネルギー経済研究所 常務理事 計量分析ユニット担任  
担任する計量分析ユニットは我が国のエネルギーミックスの議論に資する各種分析で貢献。毎年発表する IEEJ アウトLOOKはタイムリーな分析と気候変動の実践的アプローチで世界に知られる。国際エネルギー機関 (IEA)、APEC、ERIA、IPEEC など、エネルギー分野の国際協力で活躍し、国際会議等での講演・モデレーターの経験豊富。2020 年国際エネルギー経済学会 会長を経て、2021 年より同学会 Executive Vice President



**ウィム・トーマス 氏 (Mr. Wim Thomas)**

前シェル・インターナショナル首席エネルギーアドバイザー  
在職中は、同社企業戦略部門シナリオチームに所属し、エネルギー市場分析チームを率いる。世界規模のエネルギー分析、長期エネルギーシナリオの作成を担い、石油及びガス市場と価格、エネルギーに関する世界的な需要と供給、規制、エネルギー政策及び産業構造を含め幅広いエネルギー問題について、同社役員会に助言を行っていた。シェルグループにて 35 年以上にわたり、掘削操業、地下貯留層マネージメント、ガス事業・規制の国際的要職を担った。現在は、世界有数の海洋研究所であるオランダの MARIN (オランダ海事研究所) にて非常勤取締役、海洋分野において持続可能なエネルギーのイノベーションを促進する企業“Buccaneer”の顧問を務めている。British Institute of Energy Economics フェロー等の肩書を持つ。世界石油会議英国内委員会 議長、British Institute of Energy Economics 理事長等歴任。デルフト大学 (オランダ) 海洋工学修士号 取得。



**シリ・チラポンパン 氏 (Dr. Siri Jirapongphan)**

泰 前タイエネルギー相 現タイエネルギー省 大臣顧問

2020 年 8 月より現職。同年 4 月よりバンコック銀行取締役会メンバーを務める。エネルギー大臣在任以前は、タイ石油公社 システム計画責任者、石油化学公社、プランニング・コーディネーティングマネージャー、バンコック銀行 上級副社長、タイ LPN プレートミル マネージングディレクター、およびタイ石油研究所 (PTIT) 事務局長を歴任。また、タイ・ペトロケミカル・インダストリー (TPI) を再建したチームメンバーであり、タイ港湾局 取締役会および代理知事、タイ国有鉄道 理事、および国家改革評議会メンバーを務めた。カリフォルニア工科大学 化学工学学士号 (honor)、マサチューセッツ工科大学 化学工学博士号 取得。



**リーナ・スリバスタバ 氏 (Dr. Leena Srivastava)**

インド 国際応用システム分析研究所 副所長

2012年からニューデリーにある the TERI School of Advanced Studies (持続可能な開発に焦点を当てた学際的高等教育機関) で副総長を務めた。エネルギー資源研究所 (TERI) では、エネルギー、環境、気候変動政策の分野で、30年以上の研究経験を有し、エグゼクティブディレクターとして約9年間務めた。ハイデラバード大学経済学修士号、インド科学研究所 (バンガロール) エネルギー経済学博士号を取得。

特別講演



**保坂 伸 氏**

経済産業省資源エネルギー庁長官

1987年通商産業省入省。1992年日本銀行、1996年米国ミシガン大学留学。2013年大臣官房秘書課長、2015年大臣官房審議官 (経済産業制作局担当)、2016年大臣官房審議官 (産業技術環境局担当)、2019年貿易経済協力局長などを経て、2020年7月より現職。

Session 3



**小山 堅 司会 (モデレーター)**

(一財)日本エネルギー経済研究所 専務理事 首席研究員

2001年 英国ダンディ大学博士号取得。エネルギー動向分析室長、研究理事などを歴任。東京大学公共政策大学院客員教授、政府審議会委員等を多数務める。専門は国際石油・エネルギー情勢の分析、アジア・太平洋地域のエネルギー市場・政策動向の分析、エネルギー安全保障問題で、関連の著書・論文多数。2020年6月より現職。



**ポール・スティーブンス 氏 (Prof. Paul Stevens)**

英 王立国際問題研究所 特別上席フェロー

1973年からレバノンのバイルート・アメリカン大学で講師やコンサルタントを務め、1979年より英国サリー大学で教鞭を取り、1993年から2008年まで英国ダンディ大学にて石油政策および経済学の教授を務める。専門は国際石油市場、中東政治経済学等



**ラジャー・マルズーキー 氏 (Dr. Raja Almarzoqi)**

前国際通貨基金 アドバイザー

プリンスサウドアルファイサル外交研究所 経済学准教授、IMF 専門家、経済企画省 非常勤コンサルタント。湾岸通貨評議会 (GMCO) 会長を経験し、多くの政府・民間組織、地域および国際機関 (世界銀行、アラムコ、経済企画省)、サウジアラビア総合投資庁 (SAGIA)、観光最高委員会、湾岸協力理事会 (GCC)、Alkhabeer Capital、国立研究開発機関 (KACST) でコンサルタントを勤めた。サンダーバード国際経営大学院 及び キングサウド大学等 多数の有名大学で非常勤教授を務め、経済学の複数科目の講義を担当。また、企業や基金の理事も経験。影響評価、シナリオ分析、マネーアンドバンキング、国際金融、および金融、政策モデルが専門。国際会議で発表し、中東の主要ジャーナルへの執筆も多く、著書も出版されている。キングサウド大学 経済学修士号、ミシガン大学アナーバー校 定量経済学 (Quantitative economics) 修士号、オクラホマ州立大学経済学・金融学博士号 取得。



**アドナン・シハブエルディン 氏 (Dr. Adnan Shihab-Eldin)**

クウェート 前クウェート科学振興財団 事務局長

クウェート科学振興財団 (KFAS) の理事会メンバーを経て、2021 年 2 月までの 10 年間、事務局長を務めた。OPEC、IAEA、ユネスコ等研究局長および事務局長代行など、の国際機関で指導的な立場ポジションを歴任し、クウェート科学研究所 所長、およびクウェート大学 副学長の経験を持つ。KAPSARC の国際諮問委員会 (KSA)、オランダ Kearney エネルギー転換研究所など、多くの公的・民間組織、財団等の理事会や評議会に参加。エネルギー、原子力科学、社会経済開発分野の研究論文、著書も多く、この分野に関連した国際会議で講演を多く行っている。カリフォルニア大学バークレー校 博士号・理学士号・修士号を取得。カリフォルニア大学バークレー校からのエリーゼとウォルター・A.ハース国際賞 (2017 年) など、多くの名誉ある賞を受賞。

閉会挨拶



**入江 一友**

(一財)アジア太平洋エネルギー研究センター 代表理事・所長

1979 年通商産業省入省。1988 年米国ジョージタウン大学外交大学院修了。2002 年京都大学博士号取得。在オーストラリア大使館勤務を含めエネルギー・貿易分野の行政と、経済産業研究所等での政策企画・研究に主に携わる。2008 年経済産業研修所長を退官後、東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻教授を委嘱される。2012 年から日本エネルギー経済研究所の研究理事・アジア太平洋エネルギー研究センター研究部長、2018 年から常務理事・同センター所長を務め、同センターの独立に伴い 2020 年 4 月より現職。